

募集要項概要

募集人数 15名

受講期間 2020年4月～2021年3月(1年間)

受講場所 主として高知大学医学部(高知県南国市岡豊町小蓮)

応募方法 選考料を振込のうえ、次の応募書類を添えて郵送にてお申し込みください。

- ①受講申請書(本プログラム所定の用紙による。)
- ②履歴事項(本プログラム所定の用紙による。)
- ③志望の動機(本プログラム所定の用紙による。)
- ④最終出身学校卒業(修了)証明書
- ⑤振替払込請求書兼受領証の写し(選考料振込時のもの)
- ⑥結果通知送付用封筒(表に住所・氏名を記入し、84円分の切手を貼付した長形3号の封筒)

募集期間 2019年11月25日(月)～2019年12月23日(月) [必着]

2020年度 スケジュール(予定)

1 学 期	4月	・オリエンテーション ・選択科目受講届提出	●	選択科目	授業実施
	5月				
	6月	● 必修 病院経営学講義・演習 週末セミナー(第1回開講)			
	7月				
	8月				
2 学 期	9月	● 必修 病院経営学講義・演習 週末セミナー(第2回開講)			
	10月	● 必修 病院経営学実習 (自施設での実践実習)	●	選択科目	授業実施
	11月				
	12月	● 必修 病院経営学講義・演習 週末セミナー(第3回開講)			
	1月				
	2月	● 必修 病院経営学実習発表会・修了式			
	3月				

病院に携わる方へ

いちから学ぶ 病院経営

マネジメントスキルUP



地域医療を支える

四国病院経営プログラム

SHIKOKU HOSPITAL MANAGEMENT PROGRAM

高知大学・香川大学・高知工科大学・高知県立大学 連携事業 文部科学省 課題解決型高度医療人材養成プログラム採択事業

〈資料請求先・問い合わせ先〉

〒783-8505 高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部・病院事務部学生課大学院係 四国病院経営プログラム担当

TEL:088-880-2290 / FAX:088-880-2264

Email: hmp4@kochi-u.ac.jp

四国病院経営プログラムでは1年間で 病院のトップマネジメントと OODA (Observe, Orient, Decide, Act) を実践できる 現場責任者を養成します

高知大学医学部は、文部科学省の課題解決型高度医療人材養成プログラム事業に選定され、香川大学・高知工科大学・高知県立大学と連携し、平成30年4月より病院経営学のプログラムを開設しました。このプログラムは、病院長、副病院長などの経営責任者のみならず、医師、看護師、薬剤師、その他の医療従事者、事務担当者など多職種に対応し、病院経営に特化した人材育成を行います。

対象者: 病院長、副病院長などの経営責任者、医師、看護師、薬剤師、
その他の医療従事者、事務担当者など

経営学で用いられる考え方を 講義とケースメソッドを通して学び、 現場の課題を解決する能力(実践力)を養います

「病院経営学」プログラム構成

講義

集中セミナー形式

経営5つの基礎スキル「組織」「会計」「財務」「マーケティング」「戦略」を中心に集中セミナー形式で実施します。

演習

ケースディスカッション形式

経営事例(ケース)を用いてケースディスカッション形式で学びます。

実習

実践実習

病院現場(自施設)での実践実習を行います。

カリキュラム

●必修科目

- ・病院経営学講義
- ・病院経営学演習
- ・病院経営学実習

その他、討論会・発表会、講演会あり

●選択科目

本プログラムで定める公衆衛生学コース科目及び看護学専攻科目の中から選択履修

- | | | |
|-------------|----------------|----------|
| ・マネジメント入門 | ・メディカルデータマイニング | ・看護管理学 |
| ・医療政策・医療経済学 | ・疫学研究のための統計学 | ・看護管理学演習 |
| ・医療管理 | ・産業保健学 | |

修了要件

1年間で、本プログラムで定める科目から、**必修科目3科目**、**選択科目**(8科目から)**2科目以上履修**し、合格すること。本プログラムの修了者には修了証を授与します。あわせて、高知大学から学校教育法第105条の規定に基づき履修証明書(Certificate)を交付します。

講師陣

第一線で活躍している経営者やコンサルタントを配置しています。

開講時間など

授業は、集中講義や実習等を除き、**基本的に夜間(18:00以降)開講**です。曜日等は科目により異なりますので、それぞれの授業案内をご覧ください。

現場のことも理解している 第一線で活躍中の 経営者やコンサルタントが 講師です。



Hai Eishu

斐 英洙

主な授業科目: 病院経営学演習(ケースメソッド)
専門分野: 病院経営、ヘルスケアビジネス戦略

ケース(経営事例)で行うディスカッションはまさに模擬経営の場です。経営の上達は場数で決まるため、本プログラムは多くのケースディスカッションを取り入れています。ぜひ多様な参加者での熱い議論を楽しんで下さい。

ハイズ株式会社代表取締役、高知大学客員教授、
慶應義塾大学特任教授



Shinichiro Monobe

物部 真一郎

主な授業科目: 病院経営学講義
専門分野: Entrepreneurship / Venture finance / Digital Health

経営には絶対の正解はありません。当プログラムで、課題に直面した際に活用する、思考を整理するためのフレームを身に着け、直感で行う経営から、考える経営に変化させましょう。

高知大学医学部特任准教授、
株式会社エクスメディア代表



Narufumi Suganuma

菅沼 成文

主な授業科目: 病院経営学実習
専門分野: 産業医学、環境医学、衛生学

四国病院経営プログラムは、地域医療を支えている病院のトップマネージャーと現場責任者を同時に育てようとする挑戦的な取り組みです。最高の講師陣とともに病院経営の真髄を極めましょう。

事業推進プロジェクトリーダー、
高知大学医学部長・
大学院総合人間自然科学研究科医科学専攻長



Hiroshi Uemura

上村 浩

主な授業科目: 病院経営学講義
専門分野: 財務諸表監査

本プログラムは、経営の基礎理論の会得と、ケースにおける応用が可能となるよう設計されています。これらを通じ、皆さんが抱える経営課題の解決に向けて共に考えていきましょう。

高知工科大学経済・マネジメント学群准教授



Taeko Moriki

森木 妙子

主な授業科目: 看護管理学・看護管理学演習
専門分野: 看護管理学

自分の知恵を出し切り、部門を超えて多様性のある経営を考えていきませんか。

高知大学医学部看護学専攻教授

動機▶これまでに病院管理・中間管理者研修を受けた経験があります。単発かつ座学での研修であり、導入としての意義がありました。一方、自施設への活用などに困難を感じておりました。その状況で県内に病院経営に特化したプログラムの存在を知り、実践を主体とした内容に関心を持ちました。感染対策領域では、ガイドライン・マニュアルが存在し、それらをどの様に現場に落とし込んで継続するかが課題でした。同じ手法での経営管理には限界があると考えます。これまでとは異なる多角的なアプローチを習得できると期待し受講を希望しました。

受講途中の感想▶講師の先生方、スタッフの皆さんが熱心でとても友好的です。

抱負▶このプログラムを受けてこれからの病院の改善・変革につなげればと考えます。部分ではなく全体が最適になるように働きかけます。さらに、病院のビジョン・ミッションを再度掘り下げて考える必要性を認識しております。



高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター
消化器外科、感染症科
福井 康雄 副院長
ふくい やすお

動機▶2017年度より、事務部長という病院全体をマネジメントする立場を拝命致しました。病院経営や医療経済、組織管理を一から体系的に身につけたいと考え応募致しました。また、今回唯一四国以外の出身者での参加となります。このプログラムを選んだ理由として、高知県は医療が中心部密集しており、且つ高齢化や人口減少が他県と同様に地域医療の課題となっております。そのような環境下で対策や対応、考え方を直接目で確認し、様々な立場の方と勉強するチャンスと思い応募させて頂きました。

受講途中の感想▶職種や経験も異なるが、同じ目標と仕事に対し、やりがいと改善意欲の高いメンバーと出会えたことで、私の刺激にもなっています。

抱負▶プログラムで習得した知識と、自分自身が感じている課題も含め、終了後は実践に活かすことが重要と感じております。また私自身の知識でなく、法人や組織に還元して行きたいと考えております。最終的には、沖縄の地域医療・病院経営の向上に繋がることを目標に努めて参ります。



(沖縄) 社会医療法人 敬愛会
中頭病院 事務部
大城 学 事務部長
おおしろ まなぶ

2019年度受講生に訊く、受講の

動機と抱負

動機▶看護部長になり6年。看護部の理念、方針を示し、看護部組織の構築・運営、病院長、管理部門への報告・提案をしていく役割を担っています。診療報酬改定への対応、スタッフの育成・キャリア支援、地域連携、災害対策、安全を担保した業務改善等たくさんの課題があります。自施設が地域の求められる組織になり、良質な医療・看護ケアを提供していくために、病院自体も社会情勢に合わせて変化していく必要があると考えています。こうした変化の中で、看護部からも意見・提案を積極的に行っていく必要がありますが、経済や経営面に弱く、力不足を感じます。視野を広げ医療経済・政策等を学びたく、また、医療データの活用等にも興味があり応募しました。

受講途中の感想▶楽しいです。いろいろな分野でプロフェッショナルに頑張っている方々の話を聞いて刺激を受けています。

抱負▶医療・看護の動向や地域の状況などを踏まえ、新たな看護サービスの提供方法等を考え、実現に向けた行動ができるようになりたいと思っています。

社会医療法人 近森会
近森病院 看護部
吉永 富美 看護部長
よしなが ふみ



動機▶地元金融機関に定年まで勤務後、現在所属する病院に再就職することになり、当院の経理担当を業務として行っています。金融機関勤務時代において、一般営利企業の経営等について、ある程度、学ばさせて頂きましたが、「病院経営」について、改めて一から学びたく、募集要項の講師の方々の講義を聞きたく、受講することにしました。

受講途中の感想▶今までの自分と違った考えを持つことができました。また受講者同士の「悩みや疑問」を共有できる場であり、大変有意義な時間を過ごしています。

抱負▶プログラム終了後は、学んだことにより、一層の知識向上と、自院の経営ガバナンスや地域医療サービスの維持継続に微力ながら役立ちたいです。また将来的には、金融機関勤務キャリアと社労士資格を活かした「医療介護業界の経営と労務管理に強い社労士」を目指したいと思います。

医療法人 仁栄会
島津病院 事務部
西村 大和 経理部長
にしむら たいわ



1 Q きっかけ

25年前、岡山大学で肺移植のチームが立ち上がったときにチームの一員としてチーム(組織)をまとめることの難しさを体感しました。18年前に香川県に転勤して、香川大学に社会人プログラムMBAコースがあることを知り、2012年から2年間通いました。組織論など一般的なことは学んだのですが、医療に特化した組織論を学ぶコースはないかと探していたところ、高知大学で新たに病院経営プログラムが始まると聞いて、応募しました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

まず、医療機関の垣根を超えて、いろいろな立場の方と知り合いになれたことが一番の財産と思っています。医師、看護師、放射線技師、事務職の方と立場が違ったところから見る視点が新鮮でした。印象に残っている講義としては、森木先生の看護管理学、裴先生の病院経営学演習です。

Q 現場で

役立っていると思います。それまでは、医師という立場のみからしか見えてこなかったものが、いろいろな職種立場に立って、考えられるようになったと思います。問題解決の手段にも幅が広がったと思います。また、改めて地域医療の中での自院の立ち位置を再確認するとともに、長期展望に立った経営戦略を考えられるようになりました。

医師

香川県立中央病院
外科(呼吸器外科)
青江 基 院長補佐
あおえ もとい

2 Q きっかけ

受講した年は副院長の辞令を受けたばかりでした。それまで看護管理者としての自己研鑽には務めてきた自負はありましたが、非常に不安でした。受講案内を目にしたので、院長(現理事長)に「行きたい!」とお願いし、許可を得ました。当時、地域包括ケアシステムの中で多様な理由で診療や救急をお断りすることが多かったことが課題であったことと、経営を安定化したいという想いが大きかったと振り返ります。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

理論を丁寧に学んだ後、裴先生の演習を受けます。ブレインストーミングのように意見を出していくのですが、いつの間にか学んだフレームの内容が完成していたことには子どものようにびっくりしたことでした。

四国内の院長や多職種部長たちとのディスカッションの中で、職種や設立主体による価値観の違いを理解できたことが大きな学びであるとともに、LINEグループで修了後も情報交換できるネットワークは宝物です。

Q 現場で

病院経営に関して学んだことを自由自在に使いこなせるとは言えませんが、反復学習をしながら、理論を活用したエビデンスのある実践をする努力をしています。また、管理部が日常に行なっている業務は自分の弱い部分であるということを実感し、経営に関するチームメンバーの一員として協力し合っていきたいと考えています。

看護師

高知県厚生農業協同組合連合会
JA高知病院 看護部
松永 智香 副院長・看護部長
まつなが ともか

3 Q きっかけ

看護部門長が病院経営に参画することは重要と考えており、病院管理者研修を立て続けに受講したものの、病院経営に関してさらに学びたいと思っていました。現在の職務をしながら県外の大学院で学ぶことが難しく、近くで経営に関するプログラムはないかと探しているところでもありました。また、自施設では新たな交代制勤務の見直しという取り組み課題を抱えている状況でした。そのころ、ご案内いただいたプログラムの説明会に参加したことがきっかけです。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

毎週の講義も新たな発見があり、楽しく学ぶことができましたが、なんといっても集中講義が印象に残っています。ケーススタディでは、皆さんの意見や考えを聴く中で多面的にケースを捉えていくことにつながり、自分では発想のなかった視点や自分の思考の傾向に気づくことができたと思います。また、経営トップランナーの方々の意思決定や組織づくり等「生の声」を聴く機会があり、とても貴重な時間でした。地域の他職種の方々とディスカッションできたこともその後につながっています。

Q 現場で

現状や戦略について、フレームワークを使って分析するよう気を付けるようになりました。学んだことをどう役立てるかは自分自身の課題でもあるので、今後もケーススタディに参加したり、経営に関する学習を続けたいと思っています。

看護師

高知県・高知市病院企業団立
高知医療センター 看護局
田鍋 雅子 看護局長
たなべ まさこ

4 Q きっかけ

私の受講きっかけには、大学や前職での経験でマネジメントに興味を持ち、現在では、“現場と経営が結びつくマネジメント”をテーマに取り組んでいる背景があります。

これを基に、大きな転換期にある医療業界に立ち向かうため、“経営4資源を見定める力”、“各部門の協力体制の強化”、“他施設との協調関係”が重要になると考えております。

今回、このプログラムを通して、実践力を養うことで、高知県の医療に役立ちたいと思い応募しました。

Q 良かったこと(内容・授業形式・先生陣など)

今回受講したことで良かったことは、医療経営をはじめ、政策、データ、医療管理などに触れ、知識の幅が広がり、多職種かついろいろな立場の方たちとの意見交換をすることで“気づき”に繋がったことです。そして、“ケース”を通して、さらに、考え続ける力や課題に隠されている問題への想像力・発想力が養われたことだと感じます。

Q 現場で

当院では、2年ほど前から中期計画に取り組んでおります。中期計画への理解、経営資料・プレゼン資料の作成、計画実行の場での提案等で役立っています。また、中期計画の一つに、2019年4月より当院と精神科病院(グループ病院)の22年ぶりの再統合への対応や経営の意思決定に影響を及ぼす情報への対応に日々役立っています。

事務

社会医療法人 仁生会
細木病院 企画課
門田 紘和 課長
かどた ひるかず